小樽市総連合町会

コミュニティ

令和8年7月
No.234

発行／小樽市総連合町会　〒047-0008 小樽市築港１１番１号　ウイングベイ小樽１番街４階
TEL：24-1933　FAX：64-5755　E-mail sourengo.jm@bz4.plala.orjp

●「小樽市総連合町会　令和８年度定期総会」を開催しました



５月１３日（金）午後４時からニュー三幸で、令和8年度定期総会を開催しました。総会は、出席町会１３８町会（内委任状提出町会６２町会）があり、会則により2分の1以上の出席であることから総会の成立となりました。

総会の初めに堀口会長からの挨拶があり、その後、朝里川あじさい町会の中一夫会長を議長に選出し、以下の報告及び議案について審議を行いました。審議結果は、以下のとおり、いずれも賛成多数で議決されました。

定期総会の後、懇親会に移り、来賓として、上石小樽市副市長、鈴木市議会議長、近藤社会福祉協議会会長、佐々木老人クラブ連合会会長をお招きして、町会の皆さんと懇談され盛会のうち閉会いたしました。

■報告第１号　令和７年度事業報告
■報告第２号　令和７年度会計収支決算
■報告第３号　令和７年度特別会計決算
　監査報告
■議案第１号　令和８年度事業計画（案）
■議案第２号　令和８年度会計収支予算（案）
■議案第３号　令和８年度特別会計予算（案）



当日、総会に欠席された町会の皆さまには、「令和８年度定期総会の議決結果等について」の文書とともに、議案書をお送りしています。

●「町内会のデジタル化を推進する会」ワークショップの開催



5月２３日（土）小樽潮陵高校で、「町内会のデジタル化を推進する会」（通称：デジ活チーム）主催の第２回目となるワークショップを「地域と若者が創る新しい町内会のカタチ」をテーマとして開催しました。

このデジ活チームは札幌学院大生の「まちおこし研究会」と市内の１２町会で構成され、町内会の業務をデジタル化するだけではなく、デジタルという架け橋を使い、町内会と若者の対話を通じて持続可能な新しい町内会を創ることを目指し活動を行っています。

町内会を創造するための戦略として、「①見える」（町内会活動の認知向上）、「②関わる」（多世代参画の推進）、「③楽になる」（運営の効率化・負担軽減）を３本柱に位置付けてお

☞総連合町会「コミュニティ」の記事は裏面に続きます。

り、今回のワークショップでは、「①見える」に焦点をあてて町会活動をわかりやすく紹介する「町内会まるわかりシート」の原案作成に向け、５グループに分かれて意見を出し合いました。その結果、以下の項目を押す意見が多く出されました。



○活動内容の明文化：町会が街路灯の整備、ごみステーションの維持管理などを担っていること
○お金の使い道（資金の透明化）：町内会費・資源物回収等の収入がどのように使われているか
○年間スケジュール：総会、新年会、お祭り、敬老の日などの定例行事など
○組織とつながり：町内会の組織図や市などの外部機関との連携など
○重要性の周知：災害時の避難場所の役割、町内会がなくなった場合のデメリット、加入メリットなど

これらの意見を参考として、どの町会でも活用できる「町会まるわかりシート」の原案を作成する予定です。

●第１回「小樽市自主防災組織連絡会」総会の開催

５月２０日（水）に小樽市が新たに設立した「小樽市自主防災組織連絡会」の第１回総会が開催されました。設立目的は、①自主防災組織相互の連携強化と平素の交流と情報交換を図る・②地域住民の連帯と防火意識の高揚に努め自助・共助の防災活動を強化する・③災害に際し迅速正確な災害情報の収集・共有により的確な防災活動に資することです。総会には小樽市災害対策室と１５団体（総連合町会、９町会、１地区連合町会及びオブザーバー４町会）が参加し、今年度の計画が示されたほか、市で予算化した防災士（２名）の資格取得助成に関しては、入船六三町会と星野町会の２町会に決定されました。

私どもも連携団体として本会に参画しており、今後、小樽市の自主防災組織の組織率のアップにつなげていきたいと思います。

●小樽市保健所からのお知らせ

１　小樽市がん検診について

日本人の２人に1人はがんになるといわれています。定期的にがん検診を受けることが、早期発見・早期治療につながります。小樽市のがん検診は、通常より少ない自己負担額で受診することができます。男性は40歳以上から、女性は20歳以上から一部のがん検診が対象となります。詳細は「小樽のけんしんまるわかりブック」をご覧ください。

こちらのQRコードからもご覧いただけます。

２　「ウォーキングサポーター養成講座」について

ウォーキングサポーターとは、健康づくりのためのウォーキング＆ノルディックウォーキングの知識と技術を習得し、ウォーキングの輪を広める方々のことです。大学から専門の講師の先生をお招きします。ぜひこの機会にウォーキングサポーターになって、小樽のまちで活躍しませんか。 問合せ先：保健所健康増進課（電話：22−3110）

詳細はこちらのQRコードからご覧ください。

３　健康ポイントについて

小樽市で開催している健康づくり事業等へ参加すると「健康ポイント」がもらえます。ポイントは、ウイングベイ小樽で使える各種特典（イオンシネマ映画鑑賞チケットなど）と交換することができます。がん検診や、ウォーキングサポーター養成講座も対象となります。

詳細はこちらのQRコードからご覧ください。